

話題 其の33: “**くそ真面目って?**”

まずは、テーマがはしたなくてご勘弁。

いきなりですが、私の職場のチーフはとっても真面目です。

では私が日常向き合っている人たち18人の内に「真面目だな」と思える人は何人居るでしょう?

数え上げる前に、この場合の真面目とは、a) : 人柄は真面目だけど業務に力を抜いている、b) : 業務態度が真面目、c) : 不真面目、d) : よく判断できない(時と場合による)と分けておきましょう。

ではさっそく数えます。a)=3人、b)=6人、c)=4人、d)=5人 です。もちろん、気分次第や体調次第で人は左右されますから、こんな風に分けることは無理がありますよね。この判定は、私が約1年8ヶ月観察した印象です。

不真面目な連中はその他を引き込んで、派閥がしっかり出来上がっています。何処もそうでしょうが、悪ガキは団結力が強いものです。まるで「赤信号、みんなで渡ると怖くない」って感じですね。

この連中はチーフのことを「too seriously=くそ真面目」と罵ります。私から見れば、日本にはざらに居る「勤勉な人=hard worker」ですが、この表現の違いが面白いですね。

因みに派閥の面々にとって人気が高かった前任チーフの評価は「寛大(?)=open mind」で楽しい職場づくりを心がける人だったそうです。ということで、ここの職場は、同僚達が「大切だ」というチームワークという言葉がとっても似合わないのですよ。(;-;-)

しかも、この同僚達(仲間)の多く(12名)はスペシャリストと呼ばれ、国連パレスチナ難民救済機関が、難民の為に小中学校や職業訓練校の教員として雇用する22000名とも言われる大組織の中でも教育局のエリート集団なのですから・・・? (22000名は教育局以外のスタッフも含む)

では、日本でいうところの「くそ真面目人間」について、皆さんはどういうイメージを持っていますか? 因みに私のイメージですが「少し不器用で人付き合いが苦手、仕事以外の事には無頓着で浪花節的な感情(情に脆い?)に乏しい」と言ったところでしょうか。

ここのチーフはここまでひどくないですよ。激情家だし、浪花節にだってきっと涙すると思います。

開発途上国に暮らすと、真面目な人の割合で組織や国の発展に大きく差が出てくることが解ります。現地の人たちとの会話の中に、真面目や勤勉さという表現から「真面目」の意味合いの違いが、社会習慣や学校教育の違いでもあると感ずるのでありますが考えすぎかな? 日本は大丈夫ですか?

話題 其の34: “**それは無いよ**”

前回紹介した私の交通違反に対する反則金の件ですが、1ヶ月以内に納金したにも関わらず2倍の支払いを科せられました。理由は「2002年12月に違反して、支払いが2003年に越年したから」との事で、「新しい規則なの?」って疑ってしまいました。

ただ、親切な友人が支払いに行ってくれて、政府発行の領収書も発行されているので文句の言い様もないのですがね。

因みに反則金は22.3JOD(ヨルダンディナール)で、日本円に換算すると約4000円です。支払い後の領収書による内訳は、反則金20JOD、簡易裁判費用2JOD、印紙代0.1JOD、追徴金(手数料かな?)0.2JODでした。

私にとって「Uターン禁止」の違反が4000円なら高くは無いのですが、現地の人にとっては、高校卒業者の平均的月給の約20%にもなり大金です。タクシー料金やお米の価格など物価から比較すると、1JODは1000円の価値があり、日本人にとって2万2千円相当の反則金ですから厳しいですよ。ヨルダンの警官や裁判官って「**くそ真面目**」・・・・・・? (^-^)
